

## i-都市交流会議 2020 で本市職員が優秀賞を受賞

国土交通省では、まちの現状や課題を三次元の地図上に表示する情報基盤の整備「都市構造の可視化」を推進しています。

今年度、この都市構造の可視化に関する研修に 1 年間参加した本市職員がその成果を「i-都市交流会議 2020」で発表を行った結果、優秀賞 5 名の一人に選ばれました。

### 1 都市構造の可視化とは

人口分布や販売額、従業者分布をはじめとする統計データを、地図上で高さと色を使って三次元で表示するものです。これにより、都市構造の現状や課題を視覚的・直観的に把握することができます。

### 2 発表内容・発表者

- (1) タイトル 都市構造可視化の可能性  
～活用方法は無限大！～
- (2) 発表内容 将来推計人口分布、医療や商業など暮らしに必要な施設の配置、公共施設の立地などを三次元の地図上に表示させ、人口減少・少子高齢化時代のまちづくりを検討する基礎資料を作成した。
- (3) 発表者 都市整備部 都市政策課 主任 三井田正志



### 3 i-都市交流会議 2020 の概要

- (1) 開催日時 令和 2 (2020) 年 2 月 12 日 (水曜日) ～14 日 (金曜日)
- (2) 主催 i-都市交流会議 2020 事務局
- (3) 共催 (一財)都市構造可視化推進機構、内閣府地方創生推進事務局、国土交通省都市局 他
- (4) 参加者 全国の自治体等職員 約 200 名
- (5) 受賞者 5 名 (柏崎市、富山市、犬山市、埼玉県、近畿地方整備局)

### 4 発表内容の活用状況および今後の展開

#### (1) 活用状況

主に、現庁舎の跡地利活用検討に当たり、地理的条件の整理や人口動態、市内の公共施設・医療・福祉施設の立地状況など、まちの状況を把握する業務に活用

#### (2) 今後の展開

柏崎の特有の課題整理、そして、次年度に予定している立地適正化計画策定に向けた住民合意を得る場で活用